



AGRI EXPO ONLINE ダウンロード用資料

目次

農林水産・食品分野における標準化の意義	1
そもそも、JASとは？	2
強みのアピールにつながる多様なJASのイメージ	3
最近制定されたJAS（16規格）	4
JAS制定の流れ	5

独立行政法人農林水産消費安全技術センター

Food and Agricultural Materials Inspection Center (コミュニケーションネーム：FAMIC)

農林水産・食品分野における標準化の意義



- 品質・互換性の確保
- 生産・経営の改善・効率化

(例) 林産物JAS、ISO9001

強度やホルムアルデヒド放散量といった品質・仕様を標準化することで、一定水準以下のものを淘汰。



管理手法やその管理の監査手法を事業者が独自に開発する手間の省力化が可能に。一定水準の管理手法を活用することで管理レベルも向上。

- 取引の円滑化

(例) 食料品にかかるJAS



〈サプライヤー〉
品質管理基準

自身の製品・取組の説明・
証明の後ろ盾



〈バイヤー〉
調達基準

確かなものであることの判
断材料

サプライヤーにおいては品質管理の基準として、バイヤーにおいては調達基準として活用されることにより商取引を効率化・円滑化。

- 適正な評価環境の整備

(例) 機能性成分の試験方法JAS



国産りんご
含有量 110



外国産りんご
含有量 60

統一した試験方法により、客観的データによる優劣の比較が可能に。さらに、日本産品の優位性が発揮できる試験方法を国際標準にすることで、日本産品が高く評価される環境を整備。

- 市場拡大・新たなニーズの創出

(例) 人工光植物工場JAS、ノングルテン米粉JAS、ノワフクJAS



米粉



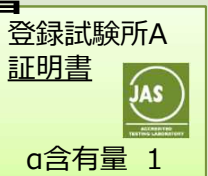


新規技術やエシカル消費等、新たな価値基準の目安を標準化することで、新規参入が容易になり、市場の拡大や新たな需要の創出に寄与。

そもそも、J A Sとは？



- **J**apanese **A**gricultural **S**tandardの略称。
- 農林水産・食品分野において農林水産大臣が定める国家規格。
- 産品（モノ）の品質・仕様のほか、様々な規格を定めることが可能。

対象		内容（例）	JASマーク
産品 （モノ）	① 品質・仕様	特定の原材料、成分等の農林水産品・食品の規格	産品に表示 
	② 生産プロセス 流通プロセス	特定の栽培法・製法で生産された農林水産品・食品の規格 など	
事業者	③ 取扱方法	特定の栽培管理や飼養管理、品質・衛生管理、保管・輸送管理、販売管理、料理の調理や提供方法の規格、官能評価員や技量・力量に関する規格 など	広告等に表示 
	④ 経営管理 方法	事業者による労務管理、社会貢献に関する規格など	
⑤試験方法		成分の測定方法・DNA分析方法の規格 など	試験証明書 に表示 
⑥用語		①～⑤に関する用語の定義	—

強みのアピールにつながる多様な J A S のイメージ

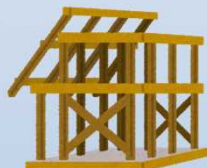


- 農林水産・食品産業の競争力強化に向け、①品質、技術、取組を平準化し、生産・流通・消費の効率化・合理化を図るツール、②創意工夫ある産品・事業者の品質、技術、取組を差別化するツールとして戦略的に制定・活用。
- 生鮮品など品質が変化するもの、ノウハウなどの秘伝や営業秘密が絡むものもJASを活用してアピールが可能。

①モノの品質の規格

- ✓ 例えば、食品の機能性成分の含有量や、木材の強度など、統一的な基準を規格化

高ルテインほうれんそう



優れた品質を持つことをアピール
新市場の開拓に寄与

③事業者による取扱方法の規格

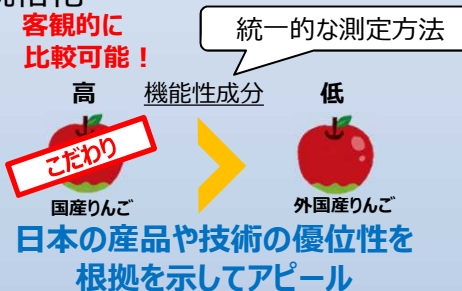
- ✓ 例えば、料理の調理や提供方法を規格化



事業者が適切に管理した料理を
提供できることをアピール

⑤モノに関する試験方法の規格

- ✓ 例えば、日本産品に多く含まれる機能性成分の統一的な測定方法を規格化



②モノの生産方法の規格

- ✓ 例えば、ドローンや農業ロボットを使用して生産された農産物の生産方法を規格化



労働安全・作業安全の向上に寄与

④事業者の経営管理方法の規格

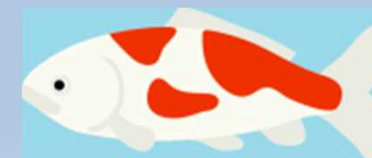
- ✓ 例えば、環境に与える負荷をできる限り少なくする一連の取組みを規格化



環境に配慮した取り組みを行っていること
をアピール

⑥用語に関する規格

- ✓ 例えば、品種を用語の規格として定義化



錦鯉の正当な評価、適正な取引に寄与
日本産の錦鯉の信頼性とブランド力向上

最近制定されたJAS（16規格）



産品（モノ）にJASマーク

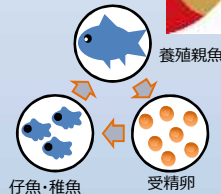
2018年 日持ち生産管理切り花

- ✓ 切り花の日持ち性を向上させる生産管理の方法を規格化



2018年 人工種苗技術による水産養殖産品

- ✓ 人工種苗技術により生産された養殖魚やその加工品について、生産方法を規格化



2019年 障害者が生産行程に携わった食品

- ✓ 障害者が携わって生産した農林水産物及びこれらを原材料とした加工食品について、その生産方法及び表示の基準を規格化



2020年 持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉

- ✓ 国産鶏種・国産飼料用米の利用、アニマルウェルフェア、周辺環境への配慮、鶏ふんの利活用、適切な労働環境の提供等を規格化



試験証明書にJASマーク

機能性成分の定量試験方法

- ✓ 日本産品に多く含まれる機能性成分の統一的な測定方法を規格化



2018年

- ①ペにふうき茶に含まれるメチル化カテキン
- ②ウンシュウミカンに含まれるβ-クリプトキサンチン



2019年

- ③ほうれんそうに含まれるルテイン
- ④生鮮トマトに含まれるリコペン



2021年

- ⑤ぶなしめじに含まれるオルニチン



2019年

接着重ね材・接着合せ材

- ✓ 近年新たに建築材料として生産され始めた国産材料の統一的な品質や表示基準を規格化



2021年

接着たて継ぎ材

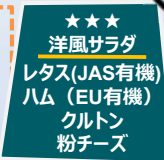
- ✓ 木材を長さ方向にフィンガージョイントでたて継いだ建築材料の含水率や欠点除去を規格化。



広告等にJASマーク

2018年 有機料理提供飲食店の管理方法

- ✓ 有機料理を提供する飲食店等について、正しく情報提供するためのサービス方法を規格化



2019年

青果市場における低温管理

- ✓ 青果市場における低温管理について、施設・設備、低温管理の方法の基準を規格化



2019年

人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理

- ✓ 人工光型植物工場における栽培管理、出荷管理、資材管理、従事者に対する管理及び教育訓練の基準を規格化



2020年

ノングルテン米粉の製造工程管理

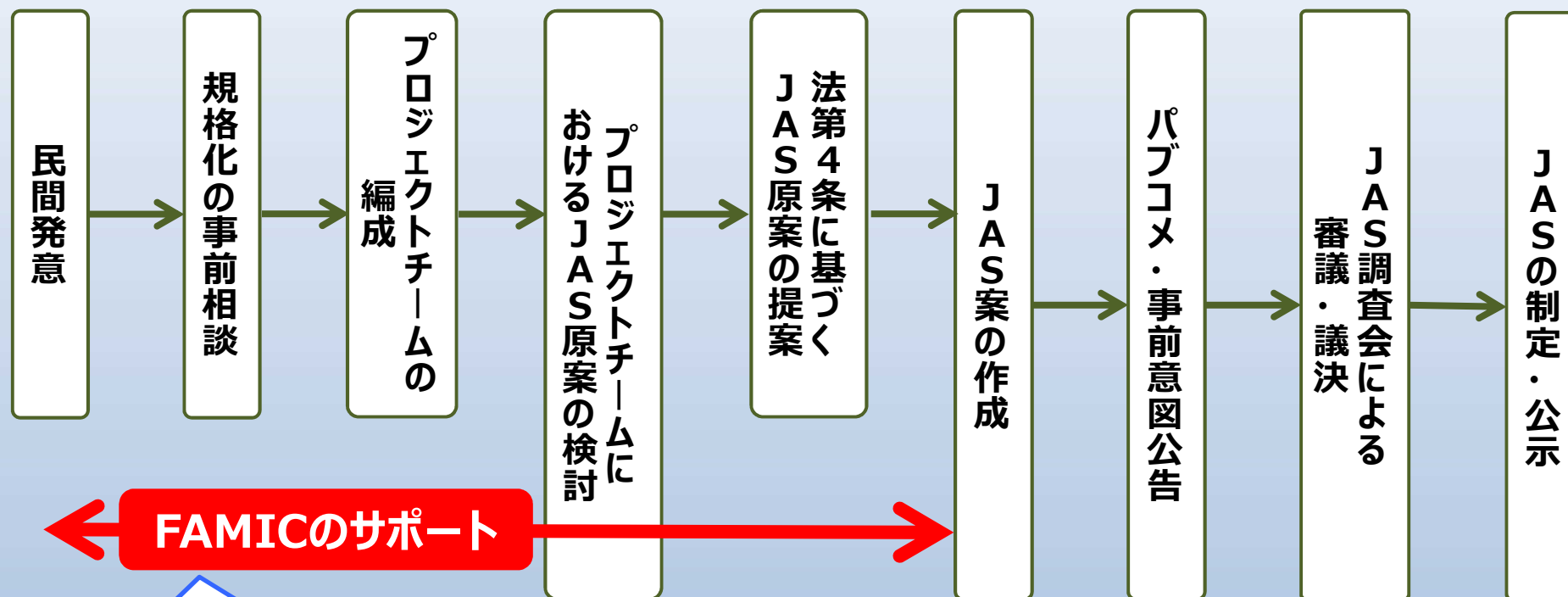
- ✓ 米粉のグルテン含有量を1μg/g(=1ppm)以下となるようにする管理方法を規格化



JAS制定の流れ



- ビジネスにおいて戦略的にJASを活用したい事業者・団体、産地・地域からの相談を受けて、JAS原案の提案に向けてFAMICがサポート。



【FAMICのサポートの例】

- ①「JASの制定・見直しの基準」(※)を満たすJAS原案作成のサポート
- ②JAS化に向けたプロジェクトチームの立上げのサポート
- ③関係者間の意見調整のサポート
- ④JAS原案の提案に係る事務手続きのサポート

※JAS法の目的に合致していること、JASとして欠点がないこと、など

【相談・問い合わせ先】

FAMIC 本部 規格検査部 商品調査課

TEL : 050-3797-1846

MAIL : shohin_mailbox@famic.go.jp

FAMIC ホームページ (相談窓口)

<http://www.famic.go.jp/syokuhin/jas/soudan.html>

